

# 保護者の皆さまへ

新年度を迎え、改めてお知らせいたします。ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

## ①補習授業校の成り立ち、役割

- ・文科省の指針によりますと、補習授業校は「**現地校に通学する児童生徒が、再び日本国内の学校に編入した際にスムーズに適応できるよう、基幹教科の基礎的・基本的知識・技能および日本の学校文化を、日本語によって学習する**」教育施設であると記載されています。
- ・一般的な入試を目指すような「学習塾」と違い、日本語力の保持、維持が目的です。
- ・補習授業校は、日本人学校同様、在外教育施設（私立）の一つですが、設置・運営は当地運営母体が申請し、文科省の認可を得て運営しています。
- ・当補習授業校は、保護者から南京商工クラブを設立母体に、在上海総領事館に設立申請を行い、文科省の認可を得て、2005年に開校されました。
- ・運営経費は、保護者からの授業料、入学金、文科省補助金、商工クラブ寄付金などで賄われております。

## ②保護者の役割

- ・補習授業校運営委員会は、商工クラブ担当理事、運営委員長、会計担当、校長、父母会長、事務長で構成され、補習授業校の運営、管理、その他相談役を担っています。
- ・担当理事は商工クラブ理事会のメンバーで、運営委員長と会計担当各1名は保護者からの選任です。
- ・父母会長、事務長は保護者の互選となっております。
- ・校長は、先生としてボランティアで来ていただいた中から選ばれた先生のみまとめ役です。
- ・保護者の方々には何かと運営上のお仕事をお願いすることになりますので、何卒ご理解、ご協力の程お願い申し上げます。

## ③家庭学習について

- ・教育に関しては、教室学習と家庭学習は五分五分の重要性を持っています。
- ・家庭では、しっかりと日本語を使用し、日本語で考え、理解する習慣をつけさせて下さい。
- ・日本の生活ルールをきちんと守ることは、日本の学校も補習授業校も変わらないことをご理解の上、家庭教育を行って下さい。
- ・また、補習授業校の『約束事』をきちんと守るよう伝えて下さい。普段通っている現地校では教えておらず、また、土曜日だけの当校で教えることには限界があります。子供たちから特別に思われないよう、家庭でも徹底して下さい。
- ・これらのことも、日本帰国の際には非常に大切なことと考えています。

## ④先生について

- ・先生は日本の会社の駐在員或いはその奥様、日本語教師、大学院生、大学生などのボランティアです。教員免許を持っておられる方もいますが、持たれていない方もいます。
- ・先生は、普段の職務や学業以外に、ボランティアとして貴重な時間を割いて教材を作成し、休日である土曜日午前（月一回程度午後もあり）に、授業をして下さっています。
- ・補習授業校は、こうした献身的な先生方に、僅かですがお礼として「謝礼」をお支払いしています。決して労働の対価ではなく、経費としてお支払していることをご理解願います。
- ・先生方は、それぞれの分野でご活躍されている現役の社会人や学生です。一般の学校の先生とは異なるご経験を、お持ちの方ばかりですので、いろいろなご質問をして下さい。
- ・当補習授業校は、上海日本人学校浦東校と連携しています。年に一回南京まで巡回指導に来ていただき、補習校のレベルアップを図っています。